

令和6年度水稻害虫トラップ情報（7月中旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺時期は平年より早く、誘殺数は7月1半旬から2半旬にかけて急増した後、青森が平年より多く、八戸は平年並、木造は平年より少なく推移している。

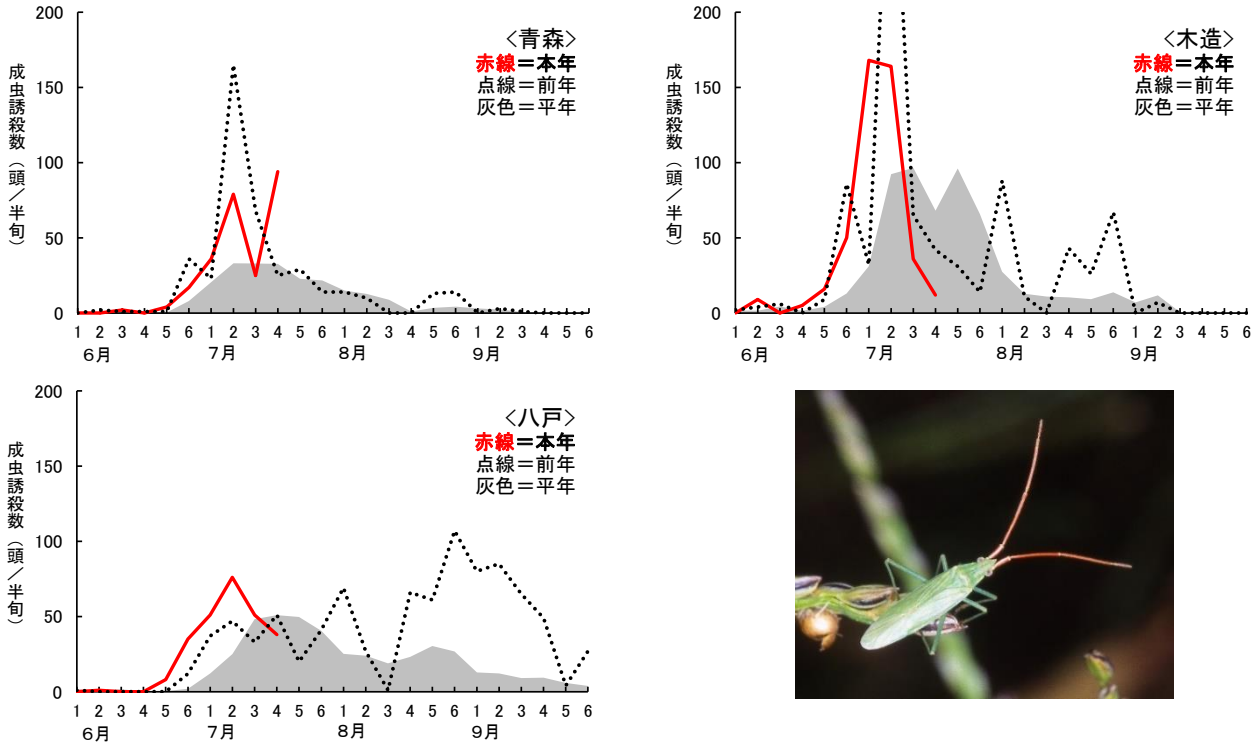


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、誘殺数は青森、十和田、七戸が平年よりやや多く、木造、鶴田、八戸は概ね平年並に推移している。

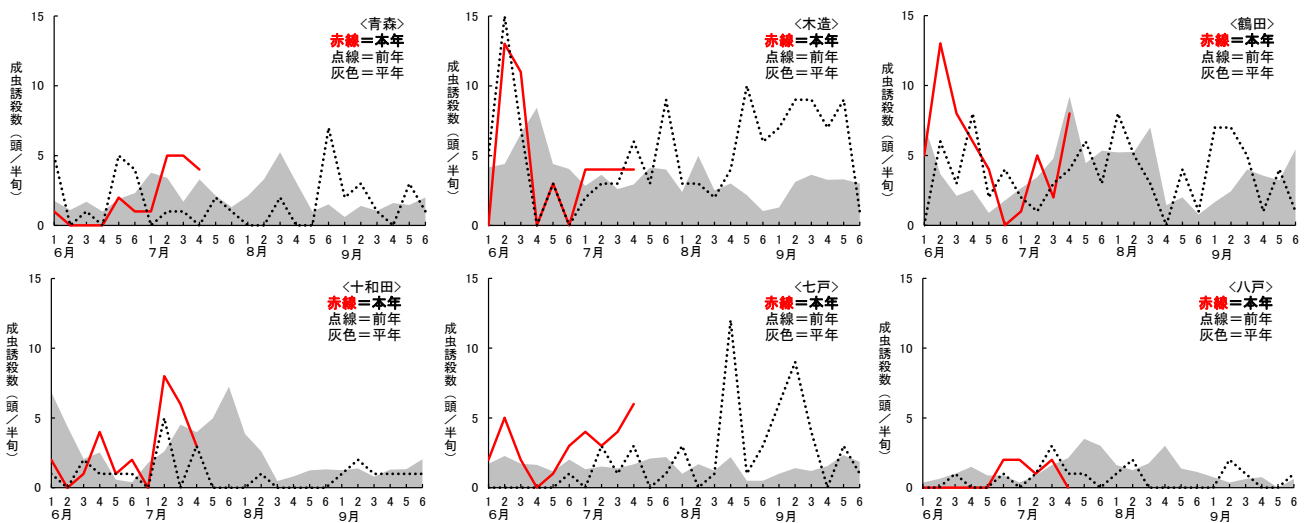


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去9か年、八戸が過去8か年の平均値。

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺開始は平年より早く、誘殺数はいずれの地点も平年より多く推移している。

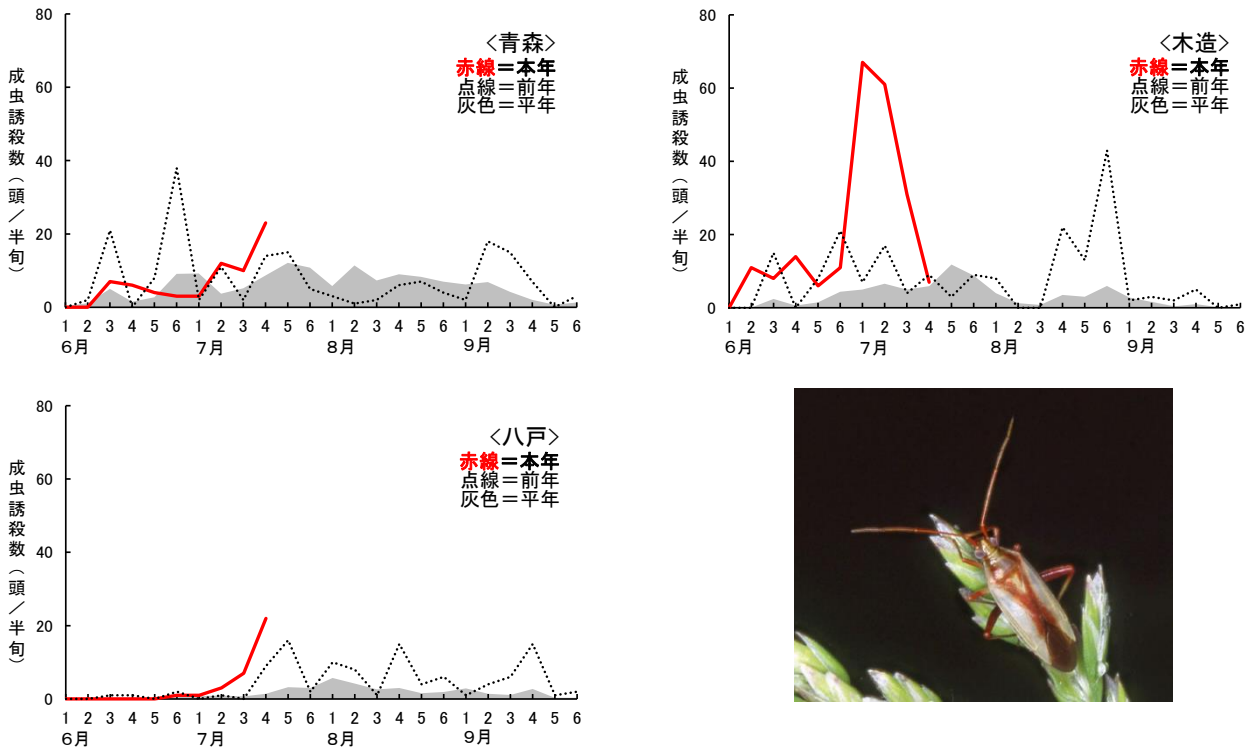


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第1世代成虫の誘殺開始は津軽地域が平年より早く、県南地域は誘殺数が少なく判然としていない。誘殺数は青森、木造、十和田が平年よりやや多く、鶴田、八戸が平年並に推移している。なお、七戸は7月20日現在、誘殺が認められていない。

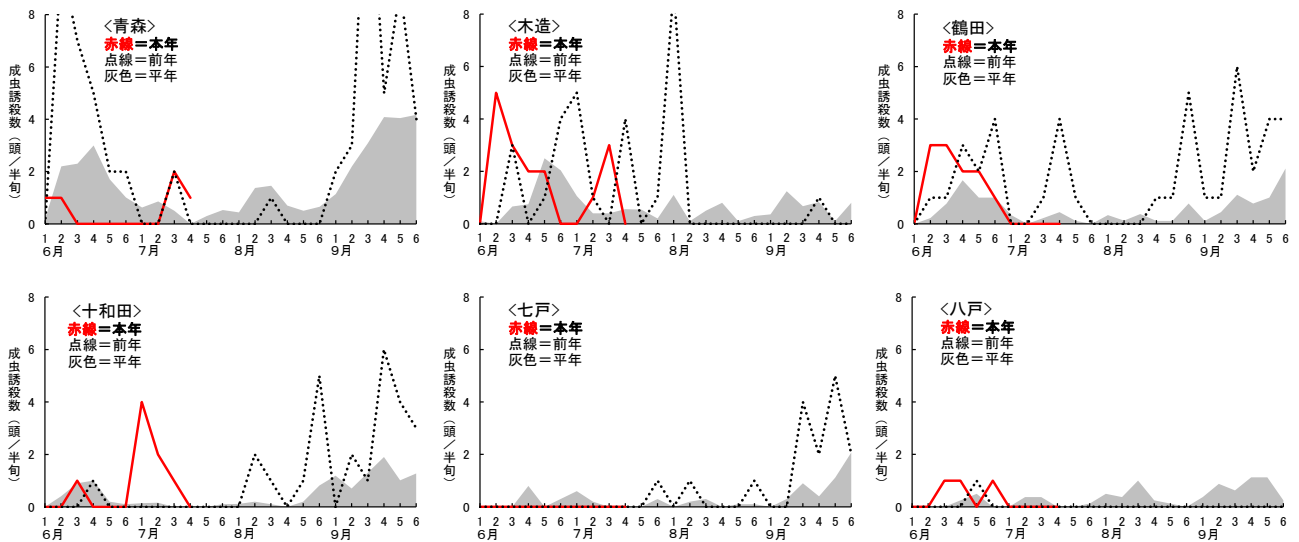


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去9か年、八戸が過去8か年の平均値。

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第2世代成虫の誘殺開始は青森が平年並、木造、八戸は誘殺数が少なく判然としていない。誘殺数は青森が平年並、木造、八戸が平年より少なく推移している。

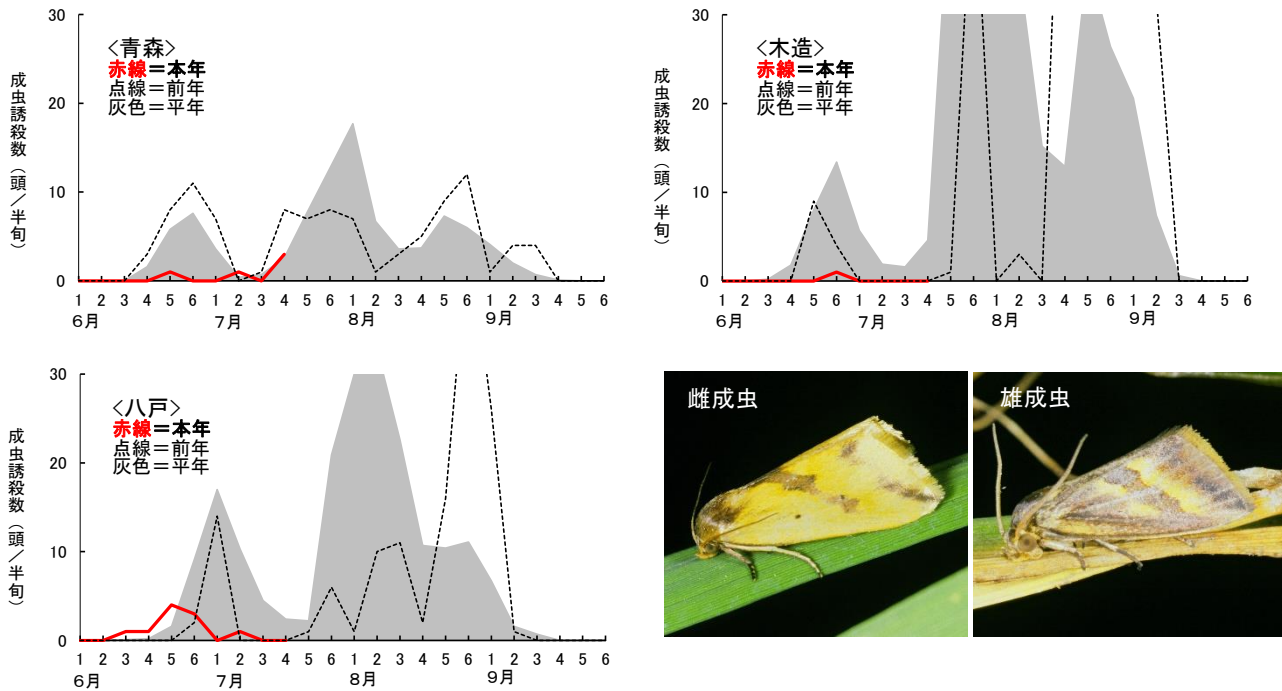


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第2世代成虫の誘殺開始は平年より早く、誘殺数は木造、鶴田、十和田が平年より多く、青森、七戸、八戸が平年並に推移している。

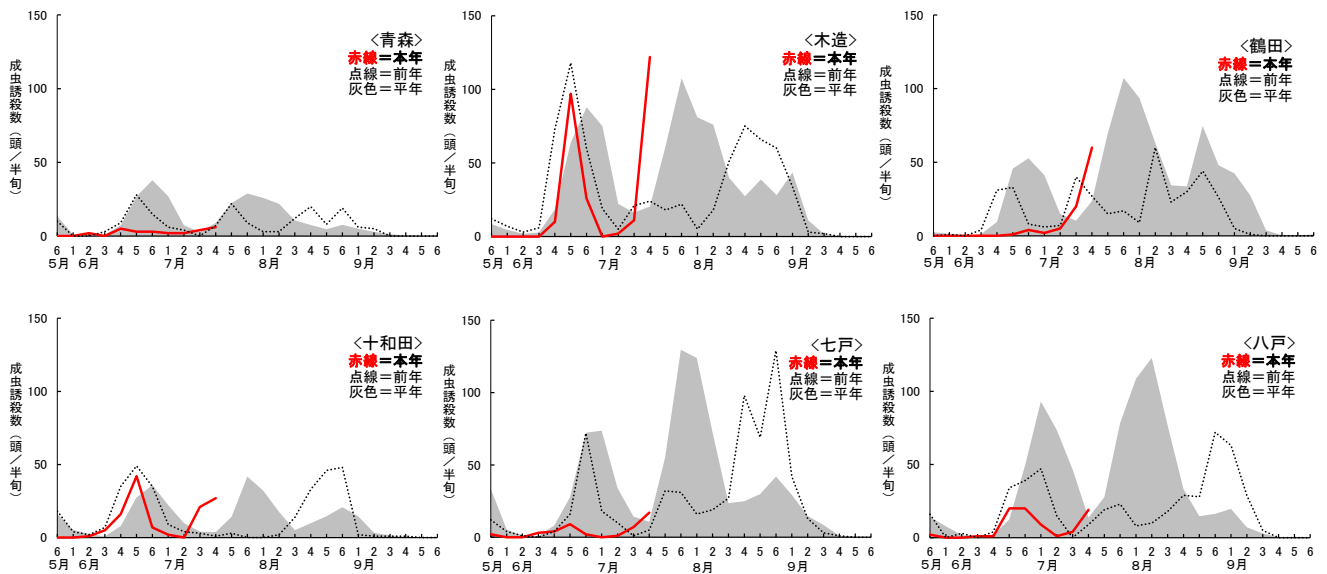


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：主幹 品川 聖也
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900